

第2回検討委員会グループワーク意見のまとめ

「多様性を尊重し合う共生社会とは」

A グループ

◆子ども ◆高齢者 ◆障害者

◆子ども

- ・どんな子どもも等しく教育を受けられる社会
- ・子どもは社会の宝として社会から尊重する社会
- ・豊かな遊びを自由に展開できる場があること
- ・希望をもってみんなが生きていける社会（子どもが・・・）
- ・子どもの視点で大人社会を振り返る社会
- ・子どもの人格が平等に保障される社会
- ・今も未来も共に生きる者として尊重し合う社会

◆高齢者

- ・高齢者が安心して助けを求められる社会
- ・生きてきた中での経験に基づく価値や考えが尊重されること

◆障害者

- ・障害のある方が特別扱いされない社会
- ・困っている人が居れば助ける人が増えればいいなあ
- ・普通の人として扱ってほしい
- ・自分の性質をよく知り、希望を周囲と共有し実現できること

◆全体

- ・住み慣れた地域で生き生きと暮らせる社会
- ・生き生きと暮らせるとは
 - ①社会の構成員が
 - ②人格が尊重されている偏見や差別がない
- ・学びやチャレンジの機会を望む人に提供される社会
- ・誰でも居場所があり参加できる社会

Bグループ

◆女性 ◆性的少数者 ◆国籍

- ・自分ごととして考える
- ・相手のこととしっかり理解すること
- ・住民同士の交流
- ・助け合い
- ・自己理解
- ・スタディツアー
- ・教育
- ・広報
- ・罰則

(その他の意見)

- ・マンガ、ドラマ、映画
- ・講演
- ・人間社会以外の共生社会からヒントを探す
- ・差別のある地域とない地域をデータ化し影響を考える

- ・認め合う社会
- ・対話
- ・多様性が当たり前の社会
- ・価値観の共存
- ・相互理解
- ・意見の尊重ができる社会

- ・認める（自分が正解ではない）
- ・比較しない
- ・自己開示

- ・身近に存在
- ・縦のコミュニティ
- ・お隣さんと仲良くする
- ・地域行事に参加
- ・集会
- ・コミュニティ参画
- ・全員参加イベント

「多様性を尊重し合う共生社会を推進するための課題」

A グループ

◆子ども

- ・人と異なるといじめられる
- ・いじめ、虐待等早急に対応できる機能的な体制づくり
- ・子どもの実態や課題を大人が正しく理解する
- ・子育て機能の低下
経験不足＝一面？（大人、子ども）
- ・学校、家庭、社会等の連携体制
- ・親世代の育児に関する情報リテラシーの格差、孤立による問題
- ・学校の負担が大きくなっていること（様々な支援のニーズの増加）
- ・親による子どもへの愛が？
- ・子どものいじめに対する保護者の正しい理解の促進
- ・学校の負担が大きくなっていること（様々な支援のニーズの増加）
- ・子どもの人権教育（自分を守ること）

◆高齢者

- ・高齢者＝できない という偏見がある
- ・社会参加できない高齢者の働き方。経験知識を活かせる働き方
- ・高齢者が活躍できる場が社会の中で少ない
- ・自立できる環境の充実
- ・住み慣れた家で過ごすためのサポートが十分でない
- ・障害者が高齢者年代になった際の制度移行の難しさ

◆障害者

- ・障害者＝特別な人 という決めつけがある
- ・支援者の待遇や安全の確保
- ・バリアフリーの取組が進んでいない（お金）
- ・ニーズを把握して支援を行う仕組みの柔軟性の欠如
- ・合理的配慮の共有
- ・田舎ほどインフラ整備が遅れている

◆全体

- ・人権という概念が社会に浸透していない
- ・大人向けの人権教育が足りていない
- ・就労・労働に関する社会構造の変化、経済格差
- ・自分の人権を守る意識

- ・働く場所が少ない
- ・人権学習の格上げ？
- ・活躍できる場所がない
- ・心のバリアフリー必要

Bグループ

◆女性（性別）

- ・政治政策方針等決定の場など消極的（←女性目線なし7：3）
- ・議員や役職が少ない（←女性目線なし7：3）
- ・男性中心社会からの脱却
- ・家事や育児など夫婦間の役割分担
- ・給与の違い
- ・家事に収入がない

（その他の意見）

- ・家庭の中で仕事が多すぎ
- ・キャリアの分断
- ・男女差別をなくす意識改革
- ・子育て、仕事、家事との両立
- ・子育ての負担
- ・社会進出、働きやすい環境づくり
- ・社会と家庭を両方任されている政治
- ・整理による体調、精神不安定
- ・女らしさ、男らしさという価値観
- ・女性自身のあきらめ
- ・田舎での役割の違い（自治体）

◆性的少数者（性別）

- ・婚姻制度（←これが重要）
- ・子どもを持つ権利も必要
- ・理解及びサポート体制（←開かれた議論が大切）
- ・学校の中からの差別や偏見（←教育）（←開かれた議論が大切）
- ・別コミュニティとなっている（←当事者が隠す）
- ・夫の母からの目線（←他者、社会からの目線）

（その他の意見）

- ・「常識」「あたり前」という感覚
- ・気持ちが悪い・・・
- ・ウワサ話

- ・なぜ、人が幸せだと言っていることを止めるのか？
- ・テレビの中の出来事
- ・他人事
- ・過去のメディアの間違った取扱い
- ・子をもてない
- ・男性、女性を意識し過ぎない
- ・男らしさ、女らしさという言葉
- ・戸籍制度の変革
- ・他国ではすでに法制化（同性婚）

◆国籍

- ・言葉の壁（←移民者が日本コミュニティにアクセスできない）
- ・観光客はウェルカム、移住者は迷惑
- ・地方参政権
- ・隣国関係
- ・外国人への不信感（←移民者が日本コミュニティにアクセスできない）
- ・異文化を理解するイベント（←移民者が日本コミュニティにアクセスできない）
- ・低賃金や不安定な雇用条件（←移民者が日本コミュニティにアクセスできない）

（その他の意見）

- ・入国管理法
- ・移民対策
- ・法制度の問題
- ・日本の中で外国の方へ向けたサポート体制
- ・文化の違い
- ・説明不足から生じるマナー違反
- ・外国人の犯罪者扱い
- ・知らない国や文化への恐れ
- ・白人、アジア人、黒人という感覚
- ・多民族国家の中にもヒントがあるかも